

新型インフルエンザ対策 報告書

平成16年8月

新型インフルエンザ対策に関する検討小委員会

目次

I. はじめに	1
II. 新型インフルエンザの危機	3
1. 新型インフルエンザ出現の可能性	3
2. 新型インフルエンザ出現理論	3
3. 新型インフルエンザの予測震源地	4
4. 新型インフルエンザの亜型予測と出現の可能性	5
5. 新型インフルエンザが出現した場合の影響	6
6. 新型インフルエンザへの対応の基本姿勢	7
III. 前回の報告書以降の取組	8
1. インフルエンザ対策に関する法的な整備	8
2. インフルエンザ総合対策	8
3. 発生情報の収集、分析及び還元	9
4. 情報の提供	11
5. ワクチン	11
6. 検査	12
7. 抗インフルエンザウイルス薬	13
8. 医療体制の整備	13
IV. 新型インフルエンザに対する状況別対応	14
1. 状況別対応の考え	14
2. 各状況の定義	14
3. 各状況の対応方針	16
(1) 状況 A (平常時)	16
(2) 状況 B (海外での鳥インフルエンザ発生時)	17
(3) 状況 C (国内での鳥インフルエンザ発生時)	18
(4) 状況 D (海外での新型インフルエンザ発生時)	20
(5) 状況 E (国内での少数・限定的な新型インフルエンザ発生時)	22
(6) 状況 F (新型インフルエンザ大規模発生時)	24
V. 医療供給体制	26
1. 医療機関を受診する患者数の推計	26
2. 医療需要に対応できる医療供給体制の確保	26
3. 院内感染対策	28
VI. 治療薬	29

1.	抗インフルエンザウイルス薬の種類等	29
2.	抗インフルエンザウイルス薬の特徴等	29
3.	抗インフルエンザウイルス薬の備蓄	29
(1)	ノイラミニダーゼ阻害剤	29
(2)	M2イオンチャンネル阻害剤	30
4.	抗インフルエンザウイルス薬の効果と留意点	31
5.	抗インフルエンザウイルス薬の流通の確保	31
6.	抗インフルエンザウイルス薬の予防投与	31
7.	薬剤耐性ウイルスモニター体制の整備	32
VII.	新型インフルエンザワクチン	33
1.	現在の生産技術を使用した新型インフルエンザ ワクチンの生産	33
2.	新たな技術等を用いた新型インフルエンザワクチンの生産	33
3.	新型インフルエンザワクチンの生産量等	35
4.	新型インフルエンザワクチンの接種	36
5.	副反応モニタリング及び評価	37
VIII.	検査等	38
IX.	国際的な連携	39
1.	国際機関との連携の強化	39
2.	国際関係法規改正の動きへの対応	40
3.	開発途上国への協力	40
X.	終わりに	42
XI.	資料	43
	新型インフルエンザ対策に関する検討小委員会委員及び参考人名簿	43
	検討委員会の開催日程と議題	44
	本報告書における用語の解説	46
表1	新型インフルエンザに対する状況別対応	49
表2	CDCモデルによる新型インフルエンザ患者数の試算	50
表3	抗インフルエンザウイルス薬の国内確保状況	52
表4	抗インフルエンザウイルス薬の特徴	53
表5	リン酸オセルタミビルの備蓄方法	54
表6	ワクチン接種の優先集団	55
付表1	鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ対策	56
付表2	インフルエンザワクチン製造量の推移	57
	参考資料	58